

市長の所信表明に活発な議論

総括代表質問

3月1日に行われた市長の所信表明に対して、3月3日に各会派の代表が総括代表質問を行い、市長の考えをたどりました。主な質問と答弁は、次のとおりです。

農市長クラブ

**行政改革を進め
安定した市政を**

市長選挙結果の総括と2期目の決意を伺う。

答弁 行財政改革を中心にした市政運営が市民に理解され、同じ方向を向いて市民福祉全体の向上を望まれた証と考えている。今後とも自信を持ち、構造改革に当たりたい。

公約に掲げた人材バンク構想に期待するが、その取り組みは。

答弁 シルバー人材センターの役割には、これまで以上に期待するが、年齢で区切る仕組みではない別の形態も必要。今後、慎重かつ大胆に検討していきたい。水とみどりを生かし

たまちづくりの、みどりの基金の活用を考えたい。

答弁 調査・検討を重ね、東久留米市の価値を高めていけるよう提案等の対策を積極的に実施していきたい。

ひばり保育園の民間委託による、①サービスの拡大と、②今後の保育水準の確保は。

答弁 ①午後8時までの延長保育、また、公立では初めての57日からの産休明け保育、一時保育がある。

②18年度から公設10園の第三者サービス評価を実施。

行財政改革の実施に向け、課題とその解決策は。

答弁 今後、事務系退職者の増加傾向が顕著の中で、定員適正化をどう進めるかである。職員自らが重大な課題と認識し、地方分権推進等による移譲事務事業、既存事務事業を精査し、効



都立六仙公園（4月1日一部開園）

農市長クラブ

**18年度予算は
どこが改革予算か！**

市長選挙の結果、現市政に反対する市民に、どう受け止めているか。

答弁 行財政改革を中心にした市政運営が市民に理解されたと考えている。900票差は僅差との意見もあるがこの4年間を振り返れば、大差と同じ意味を持つと考え

市有地の売却や下水道債の先送りの実情では、財政危機を脱したとは思えないが、売却は続けるのか。

答弁 市政構造改革に取り組む中で、その必要があるのかを判断していかないと容れられないと考える。

歳入増加という視点で政策を進める考えは。

答弁 産業振興策の直接的な施策はもとより、教

育・環境等の施策も本市の価値を高め、結果として歳入増加をもたらしている。現在、南沢地区の大型商業施設の誘導がある。

18年度予算はどこが改革予算か。

答弁 歳入不足の現状の中で、行政評価制度を基本に置いたP・D・C・Aサイクルによる不断の取り組みをし、広い意味でのアウトソーシングと人員抑制を推進し、効果的で効率的な行政の実現を目指す改革予算であると考えている。

まちづくりの市民参加の仕組みが不可欠というが、市民参加条例はその第一歩、取り組む意思は。

答弁 市民説明会、委員の公募といった他の自治体で市民参加条例に規定している幾つかの手法は実施している。一定のルール化は必要とも考えることから、二元代表制の権能に配慮しつつ制定に向け努力したい。

市民に対する責任を果たす唯一の道であると考えている。地方自治制度等の改革の中で、いかに的確な行政運営ができるのか、これまで以上に責任の重さを認識し、必要不可欠な構造改革は躊躇することなく進めていく。

能力を引き出す組織人事とは。

答弁 総合調整機能の充実や政策意思決定の迅速化といった要請に答えながら、市長の意思を組織末端まで浸透させる組織を常に意識していくことが必要である。

本市の財政状況は安定方向に向かっている。これは多くの市民の理解と協力があってのこと。改めて問う。改革とは何か。

答弁 最小の経費で最大の効果を上げることを追求

安全・安心まちづくりのソフト面での対応は。

答弁 防犯ボランティア団体の登録を制度化し、現在、募集を開始。団体相互間の連携を図られるよう、防犯リーダー育成講習会への参加依頼や意見交換会開催等の支援をし、地域と行政が一体となって推進できるように取り組んでいきたい。

市民の暮らしと平和を守る市政運営を

憲法9条の見解は。

答弁 日本国の最高法規であり、市政を預かる長として当然尊重し、擁護する義務がある。これまで「平和の尊重」をまちづくりの基本理念とし事業を進めてきた。今後とも平和で安心

として生活できる地域社会の実現に努めていきたい。

市民の暮らしを守る責任を負う市長として、地方分権の立場から具体的な施策充実の考えを伺う。

答弁 行財政運営の結果は、最終的に市民に影響を与える。施策の充実も慎重に判断する必要がある。今後、行政評価を活用するなど、市民への説明責任を果たしていく中で、充実・改廃は積極的にやりたい。

乳幼児医療費助成の所得制限を小学校就学前までの全児童対象に無料化を

答弁 撤廃を拡大との考えはあるが、国・都の状況市の財政状況を踏まえ、判断していきたい。

今後の保育園のあり方について検討会を設置し、計画を立てることを求める。

答弁 限りある財源をどう

としての役割も含め、この総体を体質ととらえている。

わが市における小さな政府とは何か。

答弁 歳入の増加が見込めない中、行政サービスを実現し続けるには、職員総数の抑制が不可欠。その時代に求められるサービスを最小の職員で実現していくものと考えている。

人材バンクの創設とあるが、どのようなものか。

答弁 現時点で多様な考え方に対応できる仕組みの存在としてシルバー人材センターがある。同センターの役割にはこれまで以上に期待するが、雇用希望を持つ市民という広い観点からは、年齢で区切る仕組みでない、別の形態も必要と考える。これを人材バンクと表現している。

財政危機宣言解除を明言したが、財政調整基金

の施策に配分するかが課題。今後、市民の意向等の聴取など、その手法、ルールについては、検討したい。

通園・通学路周辺の安全対策に行政と教育委員会が市民と協力し、早急に人的配置することを求める。

答弁 保護者や地域の方々に組織された子ども安全ボランティアにより、校門前の安全指導・登下校時のパトロールなど、それぞれの学校の実情に応じた活動が始まっていると教育委員会から聞いている。

介護保険制度改正による施設入所者等への影響に対する対応を伺う。

答弁 低所得者の施設入所者には負担額の軽減制度が設けられ、補給給付を行っている。居宅介護者の食事は、各施設の料金設定に基づき負担となっている。

依存体質から脱却したと認識してよいか。

答弁 市独自の課題を解決し、同宣言を解除したとしても、改革・改善による財政効果を飲み込んだ状態が続く限り、市政構造改革を進め、中長期的に見通した財政運営に意を用いることが必要と考える。

現状の事務事業の活動実績を把握し（DO）、その実績を踏まえて評価を行い（CHECK）、そこから改革や改善の視点を考え（ACTIO）、翌年の予算や計画に反映させる（PLAN）というサイクル

★基礎から始めて全体を組み立てる方式

ボトムアップ

ボトムアップ

ボトムアップ

ボトムアップ

ボトムアップ

ボトムアップ

ボトムアップ

ボトムアップ

P・D・C・Aサイクル
★現状の事務事業の活動実績を把握し（DO）、その実績を踏まえて評価を行い（CHECK）、そこから改革や改善の視点を考え（ACTIO）、翌年の予算や計画に反映させる（PLAN）というサイクル